

小郡市青少年育成市民会議だより

「大人が変われば、子どもも変わる」 2023年1月31日発行

発行者:小郡市青少年育成
市民会議
住 所:小郡市小郡255-1
小郡市役所内
電 話 070-2371-1184

今年度の活動状況

- ①花いっぱい運動（6月～10月募集、3月までに報告書を受け取る予定）
- ②夏季・冬季ジュニア研修会（7月31日、11月27日に開催）。なお、夏季ジュニア研修会は、会場を生涯学習センターから「あすてらす」に変更しました。
- ③指導者育成研修（福岡県プレイリーダー研修2級への参加（6月））
- ④おごおりっ子からのメッセージ（小中高校・小郡特別支援学校の代表者および夏季ジュニア研修会参加者による主張大会で11月5日に開催）
- ⑤ボランティア推進活動（ボランティアパスポートの配付（6月）と結果のとりまとめ（1月）を予定）
- ⑥子ども安心安全見守り活動（「こども110番の家」運動チラシを小学校新入生に配布（7月～8月）、
「こども110番の家」運動の旗等の補充を準備中、「こども安心見守り隊」ステッカーの配付を準備中）
- ⑦広報活動（「市民会議だより」を年度内に2回発行。1回目は8月に、幼稚園・保育所の園児、小中学校の児童・生徒に配布し、2回目は2月に市内全戸配布を予定）
- ⑧以上の諸事業を実施するための方針を策定するために、今年度は、年末までに、役員会1回、理事会5回、指導員会1回、部会（環境、研修、育成、広報・渉外、事業検討の各部会）を11回開催し、2月～3月も開催を予定しています。

賛助金のお願い

賛助金は12月末現在、1,033,800円に達していますが、予算額に約20万円不足しております。ぜひ市民会議活動にご賛同いただき、賛助金をいただければ幸いに存じます。どうぞ、よろしくお願いいたします。

1. 賛助金の納入方法

- ①市役所にご用件がある場合など、ご都合がよければ、小郡市青少年育成市民会議事務局（市役所北別館1階子ども育成課内）に、ご持参ください。
- ②お振込みの場合の振込み先：西日本シティ銀行小郡支店（普通預金）1477389
小郡市青少年育成市民会議(オゴオリシセイショウネンイクセイシミンカイギ)
会長 森 勝 則 カイチョウ モリカツノリ)
- ③ご持参やお振込みでは不都合な場合は、市民会議事務局にご連絡ください。
いただきに伺います。

2. 賛助金：個人 1口 100円、団体 1口 2,000円

3. 問合せ先：小郡市青少年育成市民会議事務局 担当：西村、電話：070-2371-1184

朝のあいさつ・PR活動

6月から、特段の事情がないかぎり、毎月第1火曜日の朝7時45分から30分間、西鉄小郡駅前で、あいさつ・PR活動を行っています（12月まで4回）。元気のよい返事が返ってくるのですが、嬉しい気持ちになります。



こども安心安全見守り活動

今年度も、防犯ステッカーなどを配付の予定です。このステッカーは犯罪の抑止力としての効果を期待しています。これは社会福祉協議会の共同募金配分金の助成をいただいで実施するものです。

こども安心安全見守り隊

小郡市・小郡市青少年育成市民会議

おごおりっ子からのメッセージ

11月5日、文化会館で開催。スタッフを含む参加者は187名でした。



三国小学校
森崎美玖さん
「私たちの町の姿」



味坂小学校
齊藤詩織さん
「あいさつの大切さ」



大原小学校
田中未来さん
「戦争を知り、ふだんの感謝を知る」



東野小学校
山本結人さん
「戦争をもう二度としないためには」



立石小学校
小野こまちさん
「気づく心」



小郡小学校
ジェレノー治菜
ディアンジェラさん
「同じ人間だから」



御原小学校
江藤彩織さん
「笑顔を増やすために」



のぞみが丘小学校
桑原鈴愛さん
「命の重み」



特別支援学校
堀江琴羽さん
「今までの自分、これからの自分」



立石中学校
掛橋和純さん
「あこがれ」

発表者と司会者の皆さん、たくさんの感動をありがとうございました。



大原中学校
柳あいりさん
「普通といわれる世界に」



小郡中学校
高島向日葵さん
「自分は自分」



宝城中学校
古賀文彌也さん
「私のことまで忘れてしまう前に」



三国中学校
大村晏子さん
「想像の力」



小郡高等学校
河邊まりさん
「夢以上に向かって」



小郡小学校
坂井顕太郎さん
「ジュニア研修会の思い出」



大原小学校
井上茉莉さん
「ケーキ作り体験」



東野小学校
漕上颯太さん
「夏季ジュニア研修会に参加して」



三国小学校
安部葉音さん
「たくさんの人と交流」



司会者
宝城中学校
梅崎南那さん
牟田隼人さん

【講評】 かくも瑞々しく心豊かであたたかい
メッセージに感謝します。ありがとう！

副会長 工藤 正則

小郡市青少年育成市民会議では、「大人が変われば、子どもも変わる。小郡の子どもは小郡で守り育てよう」というテーマで活動を進めております。本主張大会も、今後の郷土を担う青少年が、心身ともにたくましく、心豊かな社会人として成長することを願い開催しています。今回も小・中学校・高校、小郡特別支援学校の代表者及び夏季ジュニア研修会に参加した小学生、合わせて19名の発表がありました。みなさんのかくも瑞々しく、心豊かであたたかな発表に心を打たれるとともに、元気もらい、とても嬉しくなりました。

発表には、ふるさと小郡のよりよい未来を願う気持ちや挨拶の大切さを訴える思い、戦争の悲惨さから感じる平和な世の中のありがたさ、人間をはじめ生き物の命の重み、子どもの虐待問題から地域で見守る環境づくりの大切さ、ヘイトスピーチなどの人権問題に関することや障がいがある方々とのかかわりから学んだこと、認知症を患ったご家族とのかかわりから感じた身近な人と過ごす「今」の大事さ、ボランティア活動に参加して感じた助け合う心のあたたかさやぬくもりなど、私たち大人自身もハッとさせられる内容がたくさんありました。

また、自分自身のこれからの生き方についても深く考えたものがありました。まわりから「期待される」ことへのプレッシャーに惑わされず、ありのままの自

分で生きていきたいという訴えや、将来の夢を実現するために目標をもち、苦手なことにも何度も挑戦し、本気で一つ一つ克服していこうとする姿もありました。すべてがこれまでの経験に基づく力強い信念のある訴えで、心を打たれるものでした。

夏季ジュニア研修会に参加した児童たちの発表では、ケーキ作りの体験活動に参加して、ケーキの作り方を学ぶだけでなく、学校や学年の違う人たちと活動して友だちの輪を広げたことや、グループのリーダーとして、積極的にグループをまとめあげたことなど、貴重な体験が伝えられました。

このように、児童・生徒が思いや願いを広く社会に訴えることにより、同世代の青少年が社会の一員としての自覚を確かめることが期待できると思います。併せて、このような素直で心豊かな子どもたちの健やかな成長のために、一人でも多くの大人の方々が、より一層の理解を深め、子どもの心を育てる大人の運動の輪を大きく広げていただきたいと願っております。

最後に、毎回、「おごおりっ子からのメッセージ」をスムーズに進行していただく生徒たちがいます。今回は宝城中学校の梅崎南那さん、牟田隼人さんでした。まさに、児童・生徒のみなさんが創り上げる大会そのものです。「おごおりっ子からのメッセージ」の参加者、そして、本主張大会に携わっていただいた方々に心から感謝いたしますとともに、今後の「おごおりっ子からのメッセージ」が益々素晴らしきものになることを祈念いたします。



花いっぱい運動

助成の申込があった団体
大崎保育所、味坂保育園、城山保育園、みすず保育園、のびっこ園、小郡幼稚園、小郡力トリック幼稚園、麻生学園小学校、小郡小学校、大原小学校、東野小学校、三国小学校、味坂小学校、小郡中学校、立石中学校、小郡特別支援学校、小郡高等学校、立石校区協働のまちづくり協議会、三国校区協働のまちづくり協議会、宝城南区子供会

左右の写真はこれまでにいただいた報告書のなかから団体の活動状況を示したものです。花いっぱいの小郡市になることを期待します。



夏季ジュニア研修会

市内小学校間の児童の交流、小郡の企業について学ぶ、お菓子作り体験を目的に、7月31日に、「あすてらす」で開催。スタッフを含む参加者は44名。松本浩様（レーブ・ド・ベベ）のご指導を受け、小郡の企業について学び、交流を深めました。ありがとうございました。。



カモフラージュ（人工物を探すゲーム）

お菓子（ケーキ）作り体験



冬季ジュニア研修会

市内小学校間の児童の交流、小郡の農業について学ぶ、緑育体験（苗木づくり）を目的に、11月27日、小郡市埋蔵文化財調査センターで開催。スタッフを含む参加者は44名。久光嘉徳様（久光農園）のご指導を受け、小郡の農業について考えを深めることができました。ありがとうございました。



小郡「農業すごろく」



緑育体験

